



市毛まさひろ  
042-539-1775



池田 公三  
042-530-0750

## 福生市議団ニュース

生活相談

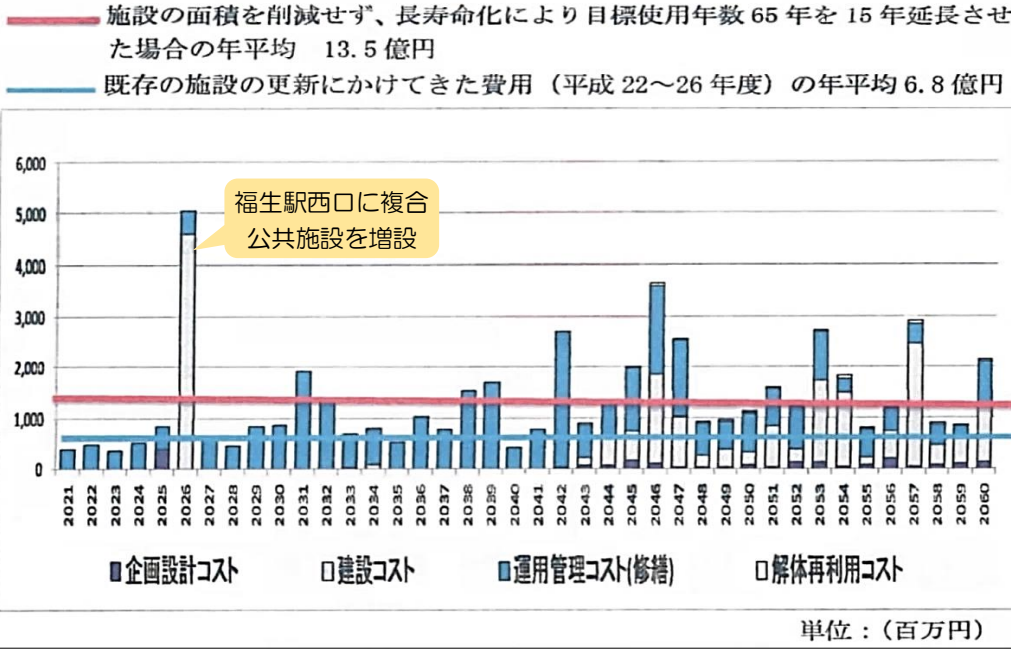
法律相談

市毛まさひろ→090-3223-3923 毎月第2・第4 火曜日 要予約  
池田 公三 →090-7946-5137 市毛・池田まで

### 9月市議会報告

## 公共施設は削減しなくても大丈夫

図表2 維持・更新コストシミュレーション結果  
(施設の面積を削減せず、長寿命化により目標使用年数65年を15年延長させた場合)



市は公共施設を20%削減(小学校7校を4校に削減など)する方針ですが、日本共産党は長寿命化工事を実施すれば、経費も軽減・平準化され、削減する必要はないと考えています。この度、長寿命化した場合の福生市個別施設計画の中間報告が発表されましたので、池田公三市議が一般質問で質しました。

長寿命化対策の効果で、向こう20年間は大きな負担ナシ

左の図(市作成資料)をご覧ください。向こう40年間に予想される公共施設の修繕コストは青色の部分です。灰色の部分が新築コスト、紫色の部分が企画・設計コストです。青い横線はこれらを総合計したコストで、平成22年から26年まで5年間の平均値(6.8億円)です。赤い横線は今後40年間の総合計コストの平均値(13.5億円)です。赤い横線を見ると、赤い横線が2021年から引かれていますが、

実際の年度ごとの経費は、2040年までの20年間は、青い横線の下または前後で推移する見通しであり、長寿命化の効果はつきり表れていることがわかります。ですから、この20年間に、これまで通り、その後の建て替え用の建設費を積み立てていけばよいのです。十分に計算が成り立ちます。

「国や都の補助金・基金・市債」を組み込んだ財源計画を示すべき



公共施設の長寿命化に対して、国は補助金を出すということをはっきり言明していますが、上のグラフには組み込まれていません。また、公共施設の維持、更新のために、市として積み立ててきた学校施設等整備基金(25億円)や都市施設整備基金(21億円)などの目的別基金の活用も組み込まれていません。さらに、将来市民にも平準化して負担していただく市債の活用も組み込まれていません。

市は、その理由として、福生駅西口地区に建設を予定している複合公共施設(上記グラフの2026年)の建設コストが未定のためと回答しています。しかし、暫定建設費50億円の巨大大事業です。これが、今後の福生市の財政に無理なく組み込めるかどうかの判断なくして、事業のゴーサインは出せません。最終的な個別施設計画には、これらを組み込んだものが必要と指摘しました。

### 2021年度予算要望書を提出!

市毛雅大氏と池田公三氏(日本共産党会派)は、福生市にあて、市民の暮らしに寄り添った50項目以上になる予算編成における要望書を提出しました。

#### 主な要望事項(要旨抜粋)

- ・新型コロナウイルス対策として、市民が安心して受診できるよう発熱専門外来を設置すること。エッセンシャルワーカーの方々に、公費による定期的検査を実施すること
- ・早期発見・早期治療の観点から75歳以上の高齢者医療費を無料化すること
- ・国民健康保険税について、子二人目を半額に、子三人目から無料にすること
- ・多くの市民がどこにでも外出しやすくなるよう、だれでも乗れる市内循環バス(コミュニティバス)の導入を検討すること
- ・横田基地で2016年まで使用していた泡消火剤に含まれる有機フッ素化合物の危険性について把握し、地下水汚染状況について調査すること
- ・武蔵野台通りと6小正門と交差する十字路について、この十字路に信号付き横断歩道をつけること。



※写真は昨年の提出の様子



## 7月臨時議会決議に対し、市長「全面的に後押ししていただいた」



機能強化が進む横田基地での訓練

横田基地では、米軍機の飛行回数が今年度に入り今世紀最大の飛行回数記録(6ヶ月平均値)するなど、基地機能を強化させ、6・7月においては連続して3回も落下物事故を起すなど、周辺住民を危険にさらし続けています。この様な現状に対し、福生市議会では7月27日に行われた臨時議会において、「1、これ以上、基地機能強化をしないこと」「2、これ以上、福生市民に基地が存在することに伴うリスクを容れさせることがないよう」にすることを全会一致で決議されました。9月議会の一般質問において、市毛議員にその見解を問われたところ、市長は「今回の決議につきましたは、市の基地対策の基本的姿勢や懸念に対して全面的に後押ししていただいたものと受け止めております。今後も市民の生活環境を守るために、議員各位のお力添えをいただきながら、横田基地対策に全力を注いでまいりたいと考えております」と答弁しました。個別事故に対する抗議から一歩踏み込んで、基地機能強化に言明する、市民にとって大きな意味を持つ答弁です。

### コラム「なぜ空から足ヒシが落ちるのか」 文責：市毛雅大(福生市議)

現在、在日米軍はDFE(Dynamic Force Employment 動的戦力運用)という考え方で動いています。これは、戦力を1か所に集中させず、薄く広く分散させることにより、仮にミサイルで攻撃されても、被害を限定的なものにさせ、残存戦力をグアム等後方に一旦避難させるという考え方です。この考えに基づき、嘉手納基地では、グアムに部隊を丸ごと移動させるというような訓練・演習を行い、横田基地でも自衛隊と米軍の合同訓練として「滑走路修復演習」を行っています。これは米軍が、「テロとの戦争」として始めた中東介入だけでなく、「中国」をも視野に入れた軍事編成を現在進めているからです。自衛隊の南西諸島配備や安倍前首相の「敵基地攻撃能力」発言は、米軍のこれら対中軍事方針から来ています。それと同時に、大国同士の全面対決は避けたい(もしくは有利に進めたい)との思惑からか、横田基地に配備されている「特殊作戦部隊」の比重も高められ、特殊作戦兵士を運搬するCV-22 オスプレイの配備を、現在の5機から倍の10機に増やすことを米軍は明言しています(現在はそれに向けての工事が進められています)。7月7日牛浜駅近くへの「足ヒレ落下事故」は、特殊作戦部隊の洋上降下訓練の一環で起きたことが判明しています。つまり、これまでの輸送基地から、特殊作戦部隊の訓練基地として横田基地の役割が増やされることによって、訓練の強化や飛行回数の激増となり、足ヒレ落下事故に繋がってくるのです。

## 日本共産党福生市議団 9月決算議会

### 令和元年度福生市 国民健康保険 特別会計 決算認定に反対

#### 反対理由①→市民の負担を減らすどころか、むしろ市の繰入額を減らしたため

私たち日本共産党会派は、国の繰り入れ増額を要求しつつ、目の前の厳しい暮らしに対応するために、まずは市として一般会計繰入額を増額し、国民健康保険税の大幅引き下げを求めています。今回の決算では増額どころか、5,744万5,000円の減額でした。この背景には国による、「標準保険税率」の設定など様々な地方自治体いじめの現状があります。市の一般会計繰り入れを国は赤字補填といって、赤字イコール良くないことというイメージで、悪者にしようとしています。その使い道は市民の命を守る医療費です。命を守るお金を支出することこそ「公」の果たす大きな役割です。そもそも国保の総会計に占める国庫支出金の負担割合を、1980年代の5割から現在の2割まで減らしているのは国自身です。令和元年度は消費税の増税もありましたし、年度後半には今に続く新型コロナのこともありました。市民の暮らしがますます厳しくなるなかで、その市民を守る一般会計繰り入れを5744万円も減らした決算には反対です。

#### 反対理由②→日本共産党の提案する「多子世帯軽減策」を採用しなかったため

国民健康保険は他の健康保険制度(協会けんぽや共済組合等)と違い、家族が多いほど保険料がかかるという少子化時代に逆行する制度になっています。そこで、最近では多子世帯への軽減策に取り組んでいる自治体も増え、近隣26市では昭島市・東大和市・武蔵村山市・清瀬市・あきる野市の5自治体です。福生市で「2人目半額、3人目以降無料」を実施する場合、690万円出来ます。「子育てするなら福生」とスローガンにするのであれば、多子世帯軽減策に福生市も取り組むべきです。

#### 【実施自治体の多子世帯軽減策の内容】

- 昭島市 「2人目半額、3人目以降9割軽減」
- 東大和市 「2人目までの軽減は無いが、3人目以降無料」
- 武蔵村山市 「2人目半額、3人目以降無料、世帯の総所得200万円以下の所得制限あり」
- 清瀬市 「2人目以降みんな半額、世帯の総所得300万円以下の所得制限あり。」
- あきる野市 「2人目以降みんな半額」

(↑令和2年度はコロナのため所得制限無しに)

福生にも多子世帯軽減を!

